

日 時: 令和元年10月24日(木) 15:15 ~ 15:55

場 所: 会議室

記録者: 佐藤 幸彦

## 1 指導・助言の先生の紹介 保健体育課 指導主事 山崎幸介先生

### 2 授業者(大須賀浩先生)から

授業クラス(1EF女子)はダンスに対して積極的で、楽しんで取り組める集団である。本時がダンスの創作活動・練習として最後の授業で、次時の本発表に向けて、映像を用いて全体の動きやフォーメーションを確認し、最終的な修正、改善をすることをねらいとして学習した。

授業の最初に本時のポイントや流れを明示してから実践するという形で進め、生徒が主体的に取り組めたことで次時(本発表)につながる授業ができたと思う。

生徒同士が互いにアドバイスし合いながらできていたと思うが、課題もあると思っているのでご助言をお願いしたい。

### 3 グループ協議報告

(Aグループ 発表 片桐章先生)

- ・本時の目標やポイントの提示が分かりやすかった。
- ・グループとしての活動が活発で、自分たちから進んで活動できていた。
- ・生徒が本当に楽しそうで、終始笑顔で楽しそうに授業に参加できていた。
- ・動画撮影の方法を示したり、欠席者がいて撮影に苦慮しているグループへ助言したりするなど、確認が不足しているところがあった。
- ・活動中に指示をする場面で、動作を止めないグループもあり、不徹底になってしまった部分もあった。
- ・指示に対する返事など、元気が足りないのが今年の特徴か。

(Bグループ 発表 浦伸之先生)

- ・自主的な活動ができていて、普段からの指導がよくされているのだと感じた。
- ・グループごとにそれぞれ工夫されていて、自分たち独自の動きづくりができていた。
- ・スマホを活用し、撮影・確認をしていたが、より深い学びにつなげるためにも、大きいスクリーンに映して他グループの動きをみてアドバイスし合うというのも、互いの学びあいにもなるのではないか。
- ・苦手そうな生徒への声かけに工夫の余地があったのではないか。
- ・それぞれのグループ内で「リーダー」の生徒を育てられるのもっとよかったと思う。

### 4 指導助言(山崎幸介指導主事より)

- ・生徒が楽しそうに活動しているのを見ることができ、今年度の学校教育の指針のポイントである「全ての児童生徒が運動の楽しさや喜びを味わうための指導の充実」がなされているのを感じた。
- ・目標、流れ、ポイントの明示がなされ、生徒が授業の見通しを持つことができ、整理して臨むことができていた。
- ・よりよいダンスを作り出そうという確固たる目標があり、そこに楽しさも見出しながら活動できていた。
- ・スマホを活用して、修正点や改善点を自らの目で明確に確認できるというのは非常に効果的である。

活用する機器については、学校で準備できるとよいのだが、生徒個人が所有しているものを活用する場合、学校内のルールから逸脱することのないような指導も必要である。

- ・ノート活用の活用について、記録（図も含め）がしっかりとなされており、反省や次時の目標につながっているようだ。記入欄については、「どこ（何）を、どのように工夫（改善）するのか」というように、より具体的な項目を設けることで視点も明確化され、もっと効果的な活用ができると思う。
- ・いい発表になることが予想され、非常に楽しみである。



10月15日  
・ダンスの流れの記録（絵や図を記録しよう）

おかしな振り  
みはる  
おかしな振り  
手ノット作成 → 完成!!

今日の感想・今後の課題	評価	A	B	C
やっと完成までの振り付けができた。	成果		A	
最後の仕上げを頑張りたい。	意欲・関心		A	
	学び方		A	
	協力		A	

10月18日  
・ダンスの流れの記録（絵や図を記録しよう）

今日の感想・今後の課題	評価	A	B	C
振り付けはもう終わり、あとは発表だ。	成果		A	
もっと仕上げを頑張りたい。	意欲・関心		A	
	学び方		A	
	協力		A	